幸手市立権現堂川小学校　学校だより２月－２号　令和５年２月１６日（木）

みちしるべ　NO. １９

学校の教育目標「自分から行動できる子　・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」

学びあい　支えあい　高めあい　笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して

感謝のこころ　～みんなちがって　みんないい～

校長　川島　正晴

立春を過ぎたとはいえ、日中の温かさと対照的に朝晩の冷える日が続いています。皆様には、ますますお健やかにお過ごしいただいていることとお喜び申し上げます。先週末の降雪の折には、子どもたちが元気に校庭で雪合戦をする姿が見られました。また、2月8日には公開授業研究会を開催しました。今年も権小の子どもたちの学ぶ姿を市内の先生方に公開し、権小の学びの研究を進めることができました。日頃、皆様のご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

図書室で、＜金子みすゞ詩の絵本＞シリーズを見つけました。

日の光　　金子みすゞ　　（＊図書の本文の漢字にはルビがつけられています。）

おてんと様のお使いが　そろって空をたちました。
みちで出逢ったみなみ風、（何しに、どこへ。）とききました。
ひとりは答えていいました。
（この「明るさ」を地にまくの、みんながお仕事できるよう。）
ひとりはさもさもうれしそう。
（わたしはお花をさかせるの。世界をたのしくするために。）
ひとりはやさしく、おとなしく、
（わたしはきよいたましいの、のぼるそり橋かけるのよ。）
のこったひとりはさみしそう。
（わたしは「かげ」をつくるため、やっぱりいっしょにまいります。）

（＊『金子みすゞ詩の絵本　みすゞこれくしょん　わたしと小鳥とすずと』金の星社,2005.より）

今、権小の62名の子どもたちが、たてわりグループに分かれて清掃活動をしています。ひとつひとつの場所で人数が少ないのに、一生懸命雑巾がけをしています。冷たい水で雑巾を洗い、すすぎ、手を真っ赤にして雑巾を絞っています。見るたびにありがとう、と声かけをしています。

感謝でしかありません。目立たない場所で、誰も見ていない場所で、小さな汚れを一生懸命に落とそうとがんばっている子もいます。トイレ掃除の子たちのがんばりは格別です。みんなの使う場所を、みんながそれぞれにきれいにしている。ありがとう。心から感謝しています。

日なたで活躍した人も、日かげで支えた人も、みんなが協働して150年の歴史を重ねたから、今がある。みんなちがって、みんないい。それぞれの場所で花を咲かせている子どもたち。私たちは、子どもたちがお互いに感謝のこころをもち、自分の道を歩むその背中を支えてまいります。